

1 指導概要

教 科		科 目		
英語	NEW FAVORITE English Logic and Expression I	単位数： 2 単位		
<p>指導目標：基礎単語量や、文法項目を理解し、場面に応じて適切に選択・活用することができる。また、単語だけでなく熟語や、地域に応じた語彙などの細かなニュアンスの差を理解し、文脈における語彙選択の可能性を広げることができる。</p> <p>1. 「話すこと・聞くこと」、「書くこと・読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で自分の思いや考えを適切に伝え、相手の伝えたいことを理解しようとすることができる。</p> <p>2. 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとする。また、自国の文化とほかの国の文化・言葉を通じて比較しながら学ぶことで、興味関心を養い、自分の価値観や見識を広く高めていくことができる。さらに、効果的に近くの媒体を用いて、調査することができる力を養う。</p> <p>3. 日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりした内容について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、優れている点や改善すべき点を話して伝え合ったり、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝え合うディベートやディスカッションをする活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする力を養う。</p>				
メディア視	あり	60%	教科書	東京書籍 NEW FAVORITE I
スクーリング	単位時間×8回	合格時間数 8時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	NHK 高校講座
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 1 Lesson 1 初めての食事 留学先での初めての食事の場面 ・Unit 1 Lesson 2 道に迷う・道案内をする ・Unit 1 Lesson 3 人物紹介 先生や友人など身近な人を紹介出来る。 	第 1 回 (5/15)	第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> ・未来表現・可算名詞・不可算名詞・受動態を学ぶ。食事の際の、褒める、勧める、断るの表現を学び、文法の使い方、英語の表現の方法を理解する。自分の考えや気持ちを表現出来る。 ・Could you ～?等の表現を学ぶ。 学んだ知識を使って相手に道を尋ねたり、道案内したり出来る。自分の考えや気持ちを相手にわかりやすく伝える。 ・現在完了形・過去形・to 不定詞・動名詞を学ぶ。学んだ知識を使って、身近な人を紹介する。聞き手や読み手の注意を引く時の表現を適切に使用し、発表を試みる。

2	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 1 Lesson 4 体調が悪い。 体調を巡るやり取りの場面 ・Unit 1 Lesson 5 買い物 買い物の場面 ・Unit 1 Lesson 6 行ってみたい場所 希望を述べる 	第2回 (5/30)	第2回 <ul style="list-style-type: none"> ・冠詞・人称代名詞・助動詞 (should, had better) を学ぶ。学んだ知識を使って、自分の体調を伝えたり、相手の体調を尋ねたりすることが出来る。また、指示・アドバイスをし、自分の考えや気持ちを相手に伝えることが出来る。 ・現在形・現在進行形・現在完了形・過去形を学ぶ。学んだ知識を使って、描写する、相槌を打つ時の表現を適切に使用する。買い物で使う表現を習得する。 ・後置修飾・to不定詞と動名詞を学ぶ。学んだ知識を使って、希望を述べ、その理由を述べる時に適切な表現を使う事が出来る。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 1 Lesson 7 イベントに誘われる。 イベントに誘ったり、誘われたりする場面 ・Unit 1 Lesson 8 スクールカウンセラーに相談 スクールカウンセラーとやり取りする場面 ・Unit 1 Lesson 9 お気に入りを紹介 自分の映画や本等、お気に入りを紹介する。 	第3回 (6/30)	第3回 <ul style="list-style-type: none"> ・未来表現を学び、学んだ知識を使って、誘う、誘いを受ける時の表現を用いて会話活動を行う。また、誘いを断る時の表現も適切に表現する。 ・How や why を用いた文を学ぶ。学んだ知識を使って、状況を説明したり、手助けを申し出たり、助言や提案が出来る。御礼や感謝の気持ちを伝える表現を適切に使用出来る。 ・前置修飾・後置修飾を学ぶ。学んだ知識を使って映画や本のあらすじを要約し、登場人物などを紹介出来る。自分の考えや気持ちを表現出来る。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 1 Lesson 10 待ち合わせに遅刻 待ち合わせに遅刻したときの場面 ・Unit 1 Lesson 11 家庭でのディスカッション 家庭内で身近な社会問題についてディスカッションする。 ・Unit 1 Lesson 12 英字新聞に投稿 学校の英字新聞に投稿する。 	第4回 (7/30)	第4回 <ul style="list-style-type: none"> ・使役動詞・to不定詞と動名詞を学ぶ。学んだ知識を使って、謝る・許す・励ますときの表現の形・意味・用法を理解している。自分の考えや気持ちを伝える事が出来る。 ・仮定法を学ぶ。学んだ知識を使って共感を述べ、残念な気持ちを表現する。解決策を提案する時の英語の表現の形・意味・用法を理解し、発表しようとする。

5	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 2 Lesson 1 クラスでディベート① 電子書籍と紙の書籍について ・Unit 2 Lesson 2 クラスでディベート② 電子書籍と紙の書籍について ・Unit 2 Lesson 3 経験談のスピーチ 自らの子どもころの経験について スピーチ ・Unit 2 Lesson 4 遊びやスポーツを紹介。 オリエンテーリングのルールや手順 を紹介するスピーチ。 	第5回 (9/30)	第5回 <ul style="list-style-type: none"> ・ to 不定詞と動名詞を学ぶ。学んだ知識を使って理由を述べる。また例を挙げる時の表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する。 ・ 否定語の使い方を学ぶ。学んだ知識を用いて、相手の意見を反駁したり、引用したりする時の表現を適切に身につける。 ・ 後置修飾・受動態を学ぶ。学んだ知識を使って出来事を生き生きと描写する。また経験からアドバイスをする時の表現の形、意味、用法を理解している。 ・ 現在完了形と過去形を学ぶ。学んだ知識を使ってルールや手順を順序だてて説明する事が出来る。ディベート活動にて、学んだ表現を適切に運用できる。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 2 Lesson 5 日本を PR 日本の文化（こんにゃく）を PR する。 ・Unit 2 Lesson 6 物事の両面を伝える。 兄弟姉妹とのルームシェアについて ・Unit 2 Lesson 7 読み手を納得させる。 外国映画の見方について ・Unit 2 Lesson 8 読み手を納得させる。 海外に行くことについてのライティング 	第6回 (9/30)	第6回 <ul style="list-style-type: none"> ・ And, but ,so を学ぶ。学んだ知識を用いて、事実と意見を区別して述べる。文化や習慣を説明するときの表現を適切に運用し、自分の考えや意見を表現出来る。 ・ 名詞と無生物主語を学ぶ。学んだ知識を使って、利点と欠点を述べる。話題を発展させる。話題を変える時の表現を適切に運用し、自分の考え方や気持ちを表現する。 ・ 分詞構文を学ぶ。学んだ知識を使って自分の主張の理由や根拠を説明出来る。基本的な技能を身につける。 <p>名詞と無生物主語について学ぶ。学んだ知識を使って人の発言を引用し、条件を出して意見を述べる。自分の考えや気持ちなどを表現出来る。</p>
7	1年間のまとめ① ・前半のまとめ	第7回 (10/30)	第7回 <ul style="list-style-type: none"> ・前半(1~4)に学んだ単語・イディオム・文法をプリントにて復習し、理解する。 ・意欲的に自分で聞いたり、話したり、調べたりして友達と英語でコミュニケーションをとることを試みる。
8	1年間のまとめ② ・後半のまとめ	第8回 最終提出：(11/30) 提出予備日：(1/15)	第8回 <ul style="list-style-type: none"> ・後半(5,6)に学んだ単語・イディオム・文法をプリントにて復習し、理解する。 ・意欲的に自分で聞いたり、話したり、調べたりして友達と英語でコミュニケーションをとることを試みる。

2 評価の観点

知識・技能	目的や場面、状況、相手の反応などを踏まえた上で、適切な語彙や表現などを選択して活用するために必要な技能を理解する。
思考・判断・表現	精査した情報を基に自分の考えを形成し、文章や発話によってアウトプットし、目的や場面、状況等に応じて互いの考えを適切に表現しあう。
主体的に学習に取り組む態度	意欲的にレポート作成に取り組み、スクーリングに出席し身近な事象をもとに、英語を用いて伝え合う探究活動をしようとしている。

3 評価の方法

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価する。

4 担当者からのメッセージ

論理表現Ⅰでは、スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。面接指導だけで教科書の全範囲を解説することは難しく、一回の説明の速度も速いものです。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。また、NHK 高校講座「論理表現Ⅰ」の視聴も役立ちますので、活用してください。